働くものと県民のための静岡県労働研究所

第12回定期総会記念事業

参加費：無料

労働組合の社会的影響力の強化
（活動家育成とSNSの活用）
～アメリカ労働運動から学ぶ～

布施　惠輔　氏（全労連事務局次長）

7 月 30 日（日）
午後 2 時 30 分
静岡労政会館　視聴覚室
及びオンライン（ZOOM）
（JR 静岡駅北口より徒歩 8 分）
（Zoom 参加の方は 7 月 26 日までに申し込み下さい）
主催　静岡県労働研究所

アメリカでは、今までのビジネスユニズムに典型的な、サービス提供型ではなく、労働者自身が立ち上がって運動する組織化モデルのスタイルへの転換を、レイバーノーツに参加する労働組合が重視して打ち出しています。

サービス提供型の労使協調組合では、例えば組合員自身の組合に対する見方も、役員が長く変わらず、役員や組合のスタッフが労働組合だというふうに思っている。組織化モデルでは、自分自身が労働組合そのものであり、自主的に活動を組織するということが積極的に職場で起こるようなスタイルです。

組合を専門家集団とし、運動体ではないと考えて、組合費に見合ったサービスを提供してくれる存在と思っている組合員を、組合が広い運動につながり、労働組合で職場を変え、世界をよりよくすると思えるような組合にすることが組織化のモデルへの転換です。そういう運動を作っていくことが今推奨され、組織のスタイルを作り変えるという議論が今進んでいます。

当日の企画
●静岡県労働研究所第 12 回定期総会
　午後 1 時～2 時
●記念事業講演（誰でも参加できます）
　午後 2 時 30 分～4 時 30 分
「労働組合の社会的影響力の強化
（活動家育成と SNS の活用）
～アメリカ労働運動から学ぶ～」
布施 惠輔　氏

これからの企画

◆第 180 回定例研究会
日時…9 月 21 日（木）18:30～
場所…国労会館会議室＆Zoom
内容…「ハラスメント対策としての労使協定」
河合　利夫　氏

◆第 181 回定例研究会
日時…10 月 19 日（木）18:30～
場所…国労会館会議室＆Zoom
内容…「教員不足と臨時教職員問題」
長澤　裕　氏

◎連絡先：〒420-0851　静岡市葵区黒金町 55 番地　静岡交通ビル 3 階（静岡県評内）
静岡県労働研究所　TEL 054-287-1293　FAX 054-286-7973
メール：roudouadv@cy.tnc.ne.jp　ホームページ：http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html